

青空機械新聞

2025年2月

発行
第5号

業界ニュースとトレンド紹介

2024年工作機械受注

2月に入り、現場の雰囲気は少しずつ明るくなってきた印象を受けております。また、工作機械の引合いも増えてきており、皆様の投資意欲も回復してきたと感じております。

皆様が正しい時期に正しい設備投資を行う為に有益な情報をお届けし続けます。

日本国内受注数字

2024年12月受注額：約399億円

※鍛圧・板金機械は含まず。

前月比**16.3%増**、前年同月比**4.4%増**となりました。また、2024年通期での国内向け工作機械受注額は約**4,415億円**でした。

自動車関連の受注が前月比**150%超**と大きく伸び、航空機関連に関しては前月比**2.7倍超**と爆発的に増えました。鉄工所(ジョブショップ)からの受注は前月より僅かに落ち込みましたが、前年同月比では**+6.4%**であり、その他では建設機械、金型を除く全ての業種で前月比**10%以上**のプラスとなり、市場にとって明るい兆候であると考えられます。皆様もこの流れに乗り遅れない様、ご準備をして頂ければと思います。

チャンスは誰にでもあり、チャレンジする者のみが手にする事が出来ると信じております。

発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)

代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

Email：contact@bsmt.co.jp

2024年 米国工作機械受注はどうだったか

IMTS(シカゴショー)が分岐点だったか!?

2024年12月米国機械受注額

\$513.8million(約780億円/

\$1 = ¥152換算)

前月比**15%増**、前年同月比

94.6%となりました。2024年通期で

は**\$4.7billion**(約7,140億円/

\$1 = ¥152換算)となり、前年比では

3.8%のマイナスでした。

米国国内の工作機械受注は3年連続で減少したが、過去25年間の年平均よりは約**10%**高く、機械需要は依然高いと言えます。

2024年は非常に低調な出だしから始まりましたが、9月に開催されたIMTS(シカゴショー)後に回復し、2024年末は非常に強い受注額で1年を締めくくる事が出来ました。工作機械業界の最大の顧客であるジョブショップ(鉄工所)が通年で市場をけん引し、厳しかった2024年においても前年比僅か**3.7%**のマイナスと需要の強さを示しました。



ターニングポイントになったIMTS会場にて

航空機分野においても、ボーイング社の長期間に及ぶストライキ後に取り組みされている生産能力改善により、同分野からの受注は大幅に増え、2024年の通期数字は2023年に比べ**30%以上**増加しました。2024年全体受注数字の約40%がIMTS後の3カ月間に集中しており、この高水準の機械需要は2025年も継続すると考えられます。(AMTレポートより)

2025年1月 米国自動車販売台数(新車)

2025年のスタートはいかに!?

2025年1月米国新車販売台数

は前年同月比**3.8%増**の**111万**

2,944台でした。1月は例年、厳しい寒さなどが要因で新車販売台数

が落ち込む時期となりますが、昨年末からの堅調が続

き、4カ月連続の

増加となりました。特にホンダ、現代自、起亜の電気自動車(EV)販売が好調で市場をけん引しました。また、1月初旬の総在庫台数は288万台、ブランド別在庫日数では、フィアット122日、ダッジ87日、



ホンダが米国で販売しているSUVタイプのEV『Prologue』

リンカーン86日、ビュイック85日と在庫が多めとなっていました。一方、日系ブランドではトヨタ22日、レクサス14日、ホンダ39日、スバル32日、

マツダ41日、三菱37日となっております。好調な販売が続いているハイブリッド車(HV)の在庫が引き続き品薄傾向となっております。

米国は2025年2月4日午前0時にカナダとメキシコに発動を予定していた25%の関税措置を1ヶ月間延期する事で両国と合意しました。各自動車メーカーは主要モデルをカナダとメキシコで生産しており、車両価格、在庫、サプライチェーンへの影響は必至です。加えて、電気自動車(EV)に対する連邦税額控除が廃止されれば、更にハイブリッド車(HV)への需要が高まる事が予想されます。(マークライズより)

部品加工向けマシニングセンタ初導入パッケージのご案内

近頃では総合(複合)的な加工が出来る会社に仕事が集まる傾向が強いと感じております。マシニング加工+研磨や旋盤+フライス加工等。総合的な機械設備が求められていると考えます。

今回はマシニングセンタを未導入の方、NCフライス盤や古いマシニングセンタをお使いの方向けに当社がオススメするマシニングセンタ(立形)のパッケージ商品をご紹介します。

初期投資を最小に抑えた中で品質、使いやすさ、導入後のスムーズな営業運転、アフターサービスを考慮したベストな内容だと考えております。

パッケージ内容(①+②+③)

- ①機械本体/30番立形MC
ファナック製ロボドリル(ロングテーブル仕様)
型式: α-D14LiB5 Plus
テーブルサイズ: 850×410mm
ATC: 14本
主軸: BT30/10,000rpm(高トルク)
- ②CAD/CAM(2次元)
キヤタス製たまご Win/2.5軸加工
- ③ツーリングセット(合計14本)
BIG DAISHOWA製BT30ツーリング一式
※BIG社製工具長測定、タッチプローブ込み

パッケージ価格: 1,100万円(税別)~

※詳細仕様はお問合せください。



ROBODRILL α-D14LiB5 Plus

月々のお支払例

- ①銀行借入(7年、金利2.0%想定)

154,500円/月

- ②リース(7年、概算)

173,000円/月

※リース料金には固定資産税、動産総合保険料が含まれております。

補助金、その他機械設備に関してご質問等ございましたら、当社までお問合せください。

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

E-mail : aoki@bsmt.co.jp

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせていただきます。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！

青木社長の略歴

- 1986年6月生まれ(満38歳)
- 2009年 (株)兼松KGK 入社
- 2010年
↓ 同社新潟営業所勤務
- 2016年
- 2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社
- 2017年
↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向
- 2020年
- 2021年 ユアサ商事(株) 入社
- ↓ 同社新潟支店勤務
- 2024年